茨城県地球温暖化防止活動推進センター(2026.2.20)

脱炭素チャレンジカップ 2026
Zero Carbon Challenge Cup SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

デコ活

2026年2月20日 日本科学未来館
水戸ホーリーホックが「環境大臣賞グランプリ」
稲田小学校が 「最優秀わくわく未来賞＆オーディエンス賞」

＜プレスリリース要約＞

「脱炭素チャレンジカップ」は、学校・企業・自治体などの多様な団体が展開している脱炭素を目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、書類審査、プレゼンテーション審査を行い、優れた取組を表彰している全国大会です。地球温暖化防止全国ネットとセブン-イレブン記念財団が共催し、環境省・文部科学省・農林水産省が後援するアワードとして 16年目となります。応募の中から厳選な審査を経て 20団体がファイナリストとなり最終審査が行われ、環境大臣賞グランプリ１団体、環境大臣賞金賞４団体、文部科学大臣賞２団体を含む各賞が決まります。

茨城県からは、昨年８月に当センターが主催した予選会(クールアースいばらき大会)で最優秀の「水戸ホーリーホック」と一般応募から「笠間市立稲田小学校」が出場を果たしました。

当日の最終選考会には、出場団体、地球温暖化防止活動推進員や協賛団体など約 150 人が来場されました。

脱炭素チャレンジカップ 2026HP は ⇒ https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/

＜受賞内容＞

・株式会社フットボールクラブ 水戸ホーリーホック
「環境大臣賞グランプリ：石原宏高　環境大臣より授与」

ホームタウンの一つである城里町に広がる耕作放棄地を活用し、化学肥料を使わない農業を行いながら、上部空間では太陽光パネルによって再エネを生成していくソーラーシェアリングを設置しました。

ここで生成された電力は地域の道の駅へ売電し、地元の農作物も可能な限り地産地消していくことで、循環型地域共生圏作りの確立に寄与することができました。同時に、ホームの Ks デンキスタジアムでは、当センターが開催している「いばらきデコ活チャレンジカップ」の啓発、地球温暖化防止活動推進員と連携した「夏休みエコ工作ブース」の設置など、地域とともに取り組んできた脱炭素に寄与する行動が評価されました。

・笠間市立稲田小学校
「最優秀わくわく未来賞：SOMPO 環境財団より授与」＆
「マクドナルドオーディエンス賞」のＷ受賞

稲田地区にある複数の廃品回収所を稲田小学校に集約したことで、地域を巡回する市の回収車燃料を削減。生徒は家からリサイクル品を持って学校に登校するようになりました。学校の敷地内に設置した回収ボックスには、地域の方も空き缶・空き瓶・新聞・雑誌・段ボール・鉄くず・ペットボトルを持ち込みます。子供たちは置き場の清掃や品目の適切な管理を行い地域収入の担い手として成長しました。また、ペットボトルキャップ・フードバンクを校内に設置し、個数や種類を管理して市の社会福祉協議会へ寄付を行い、キャップはポリオワクチンに交換しています。子供たちが主役の地域脱炭素の取り組みが高く評価され、オーディエンス賞と最優秀わくわく未来賞のＷ受賞となりました。

＜プレス発信：茨城県地球温暖化防止活動推進センター(一般社団法人茨城県環境管理協会)＞
★TEL029-248-7431 FAX029-240-1270　e-mail　ibaonse@kankyokanri.or.jp